

◆ふるさとに学び 誇りと夢をもち

心あたたかく たくましい 小代っ子の育成◆

年の初めに



令和5年（卯年）を健やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。特にスキー関係者様には、年末からの待望の降雪予報が幾度となく期待も外れ、空を仰ぎ一陽来復を期されていることと存じ上げます。

今年もコロナ禍での始業式となり心配をしていましたが、全員が揃った上に、登校時の活気あるあいさつから“新年のやる気”が伝わってきて、小代っ子が飛躍できそうな兆しの感じられるスタートが切れたことを嬉しく思いました。

始業式では、卯年の特徴に触れ飛躍する一年とするために『一年の計は元旦にあり』という内容に触れて話しました。

3学期は、一年間の締めくくりの時期です。今までの成果を様々な観点から見つめ、大いに誉めて励まし、新しい年度へ繋がる意欲を喚起していきたいと思えます。

童話「ウサギとカメ」が一般に知られるようになった明治時代の国語の教科書のタイトルは『油断大敵』でした。「己を過信して怠れば失敗する。あきらめずに継続して努力すれば報われる」という教訓を知ることができます。ところが、この物語にはもう一つの教訓「見ているものが違う」が隠れています。

ウサギはカメを見ていました。対するカメはずっとゴールを見ていたのです。もしカメが寝ているウサギを見ていたら、自分も休んでいたかもしれません。ところが、ゴールを見ていたから、歩みは遅いけれど足の速いウサギに勝てた。「見ているところが違った」からこの結果が生まれたのです。つまり、ウサギにとって勝負とはカメに勝つことだけだったのに対し、カメにはゴールにたどり着くことだったのです。何を目的にするかで結果は変わってしまい、大切なのは目的をしっかりと明確にすることです。目的も時期も決めずに、ひたすら歩いていたら自分の望むゴールにたどり着くのは難しいでしょう。まわりを気にせず、ひたすら努力する『一意専心』（いちいせんしん）の大切さを示した教訓と言えるでしょう。年の初めにあって、しっかり目標を見据える小代っ子を見ての想いです。

子どもたちの「豊かな心」を育み、「生きる力」を身につけることを意識し、ご家庭や地域と一緒に歩みを進めたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

清らかな気持ちで ◆書き初め会◆

伝統的な正月の行事に親しむことをねらいとし、「書き初め会」を各学年で実施しました。

平安時代に始まり、初硯、試筆とも呼ばれる書き初めですが、冬休みの日記等でも“とんど”で書き初めをあげた様子が見られましたが、書の神様“菅原道真”のような書の達人を願いつつ、一字一字想いを込め丁寧に書きました。年の初めにあたり、今年も自分の目標を言葉にしました。それぞれの学年で、新たな気持ちを込めて熱心に書く姿が見られました。

地域連携センターのご協力をいただき、完成した作品に自分の言葉に託す思いを書いたカードを添えて掲示し、「校内書き初め展」を開催しました。カードからは、新年の意欲や自分への厳しさ、周りの人への優しさが伝わってきました。難しい言葉も見られましたが、どの学年も自分をよく見つめ、意味も理解して選んでいるのに感心しました。



校内書き初め展

なかよく 暖かく 大切な友 自分らしく 一心同体
以心伝心 獅子搏兔 万里一空 一視同仁 雲外蒼天

コロナに負けず…雪が無くとも… 雪合戦大会参加へ

兵庫県雪合戦大会参加を目指して練習する講座「冬のふるさと おもしろ塾（週末チャレンジ教室 雪合戦をしよう!）」（小代地区公民館こども講座）が始まりました。早速、始業式の放課後、週末チャレンジ教室の第1回目の練習会がありました。



コロナの影響で2年間のブランクがあり、初めての参加者も多く、今までの練習方式（高学年が実践する様子から学ぶ）が困難だということで、ルール解説のビデオを視聴するような方法を取り入れてのスタートとなりました。その後の実践では、数名の高学年の動きにより、下級生もそれなりの動きができ、なかなかの流れだったように思います。開催地域という環境に育っているからこそそのなせる技だと感心させられました。お見事!!

<お知らせ> 2月行事 2日(木) スキー教室 10日(金) スキー教室
15日(水) 小学校入学説明会 17日(金) 学校評議員会

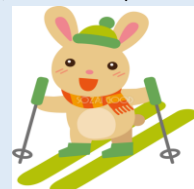
*冬季休業中、洋式トイレに暖房便座が設置され、冬期間でも心地よく使用ができます。

*2月1日より、AEDを運動場側の職員室出入口（外側）に設置します。土日・祝日や夜間等、社会体育等でも運動場・体育館を使用する際のことを考え変更させていただきます。緊急時のために、設置場所を確認していただけたいと思います。場所については、小学校玄関の表示やHP等で確認できます。



今年こそ…◆スキー教室◆

3学期の大きな行事にスキー教室があります。コロナウイルスの感染拡大が始まった2年前頃から、雪不足等のゲレンデ状況も重なり全回実施が困難な状況で、異例の運営が続いています。また、コロナ禍や教育課程（学習の計画・内容）の変化に伴う行事の再編を図る中で、今年度3回の計画をしています。1回目（1/25）は、1年生が親子スキー、3回目は、記録会も予定しています。現在、ゲレンデの積雪が心配ですが、何とか当日までには見込めそうです。スキー教室にてご協力いただける保護者の方々、小代スキークラブやスキー場の皆様にも、ご理解・ご協力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。



ありがとうございました ◆冬休みも安全に◆

冬季休業中も子ども達へのご支援をいただき、大変ありがとうございました。皆様に見守られ、子ども達が健康・安全な生活を送ることができましたこと、厚くお礼申し上げます。

【お知らせ】本便りをHPにもあげていますので、ぜひご覧ください。

HP アドレス <http://ojiro-es.kami-hyogo.ed.jp/>

※ 学校へのご意見・ご要望があれば、お知らせください。☎ 97-2004

